

第10回「ふれ愛・ピック」開催

村社会福祉協議会、村民児童委員協議会、村身体障がい者協議会や相農飯館校生のボランティアの他、ワーカースペース・ピック」がいちばん館で開催されました。

「ふれ愛・ピック」は村内の障がい者がレクリエーションを通じ、生き生きとした毎日を送り、社会参加の促進を図ることを目的

として、共同募金配分金をもとに毎年開催されています。

10回目となつた今年は、100人ほどの参加者がストーリーボーリングやボッチャ、輪投げなどのレクリエーションを楽しんだ後、日赤奉仕団手作りの豚汁とおにぎりを味わい、交流を深めました。

村社会福祉協議会では今後も障がい者の交流活動に取り組んで行きたいとしています。



▲「ふれあいピック」のようす



▲昼食を調理する日赤奉仕団員

ぼけっと
こころの

「仕事に楽な
ものはない…」

わたしたちの年代は、小さい頃ありとあらゆる「手伝い」を通じていろんな社会体験をしてきました。「してきただ」のではなく「させられた」と言っていいかもしれません。ところが、今の子どもたちにはそのような機会はほとんど無くなってしまったと言つてよいでしょう。

その反省に立つて中学校や高校などで「職場体験学習」なるものが授業の一環として実施されるようになつてきました。「職場体験学習」は、飯館中学校でも毎年行われていて、今年は9月末頃、5名の方が役場の仕事を体験しました。

先日、役場で職場体験をした生徒の感想文が中学校から届けられましたが、生

たしたちの身近にあるものが、かなり役場の方にお世話になつてているんだということを改めて感じました。」などの感想がありました。

そして「とてもいい体験でした。」に続き「わたしたちも村のみんなのため、何かできることがあれば手伝いたいと思う。」と結んでいました。

この職場体験があつたればこそ「心へのひびき」であります。学校での職場体験にしろ、家庭での手伝いにしろ、わたしたちはもつと子どもの社会性をどう体験させていくかについて真剣に考える必要がありそうです。

きたとのことです。

「まごころ」では今後も品揃えを含めたサービスに力を入れ、さらに多くの来場者が来るよう努力したいとしています。

9/30 飯桶小学校全児童が稻刈りを体験

飯桶小学校の全校児童132人が

した。

田植え後は、5年生の児童を中心となつて田車による除草、案山子や

校児童で田植えを行つたものです。

田植え後は、5年生の児童が中心となつて田車による除草、案山子や

光るテープを使つた鳥被害の軽減など手入れをしてきました。

稻刈りに臨んだこの日、5年生が稻の刈り方を説明した後、1年生から6年生の縦割り班に分かれて5月に自分たちが植えた場所の稻を刈り取り、はせがけをしました。



▲勇気（有機）学習田で行われた稻刈りのようす

10/28 オープン3周年日前 まごころ入場者15万人達成！

10/28

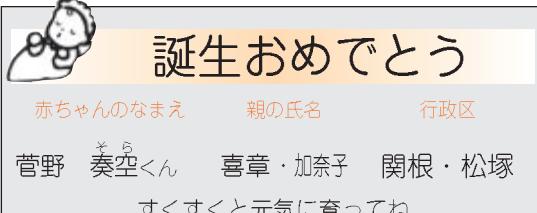
オーブン3周年日前
まごころ入場者15万人達成！

きたとのことです。

「まごころ」では今後も品揃えを含めたサービスに力を入れ、さらに多くの来場者が来るよう努力したいとしています。

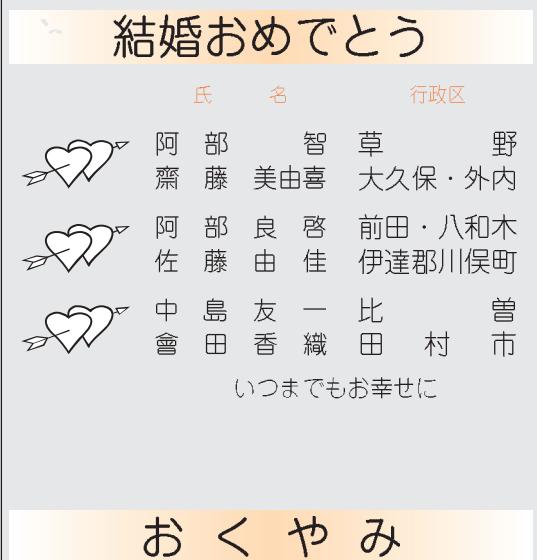


▲15万人目の来場者となった照井さん



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前 親の氏名 行政区
菅野 奏空くん 喜章・加奈子 関根・松塚
すくすくと元気に育ってね



結婚おめでとう

氏名 行政区
阿部智草 野
齋藤美由喜 大久保・外内
阿部藤良啓 前田・八和木
佐藤由佳 伊達郡川俣町
中島田比曾市
會島田一織曾市
田比曾市
いつまでもお幸せに



おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤敏明	83	大倉
阿部秋枝	75	大佐須
佐藤廣利	85	関根・松塚
菅野昇	80	小佐野
石川正雄	73	宮須
佐藤ナツイ	94	野須
大内ツヤ子	90	大久保・外内
長正ミツル	83	
菅野イクエ	91	関根・松塚

ご冥福をお祈り申し上げます

(9月21日から10月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごきの休載について

現在の人口は、平成17年国勢調査の結果を基に、県が毎月公表しています。

今年は10月に国勢調査が行われ、今後はその集計結果を基に人口を掲載しますのでしばらくお待ちください。